

小水力由来の再エネ水素導入拡大と北海道の地域特性に適した水素活用モデルの構築実証（北海道釧路市および白糠郡白糠町、実施代表者：東芝エネルギーシステムズ株式会社）

実証概要とサプライチェーン図

<p>概要</p>	<p>本事業は、小水力による電力を用いて再エネ水素を製造し地域内で利用する水素サプライチェーンを構築することで、賦存量の大きい北海道の再生可能エネルギーの導入拡大を図りCO₂排出量の削減を実現することを目的とする。</p> <p>北海道白糠郡白糠町にある庶路ダムの維持水量を利用した小水力発電により製造した再エネ水素を、地域内の複数の施設に設置した定置型燃料電池で利用するとともに、燃料電池自動車へ供給する実証を行う。また、地方自治体等と連携し、地域の資源を活用した水素サプライチェーンを構築し、全国への普及モデルを確立し、水素利用の拡大につなげる。</p>		
<p>事業場所</p>	<p>北海道釧路市および白糠郡白糠町</p>	<p>事業期間</p>	<p>平成27年度～令和2年度</p>

